

戦争を  
忘れない

8月はヒロシマ、ナガサキの原爆の日や終戦記念日。また、今年はウクライナ侵攻といった世界情勢もあり、より一層戦争や平和について思いを寄せる機会が多いのではないのでしょうか。紹介する本以外にもたくさんの関連本があります。

『戦争というもの』

半藤一利 / PHP研究所



「日本のいちばん長い日」などの昭和史に関する著作を残した著者が、昨年亡くなるまで連載していた原稿を書き集めた。『欲しがりません勝つまでは』といった太平洋戦争を象徴するような「名言」の意味とその背景を読みやすく解説し、「戦争」とはどのようなものかを書いた1冊。

『原爆といのち（漫画家たちの戦争）』

手塚治虫ほか / 金の星社



今や日本を代表する文化である「漫画」とおし、漫画家たちは戦争をどう伝えてきたのか？ 赤塚不二夫、水木しげるなどの巨匠から、「社長 島耕作」の弘兼憲史、「シティハンター」の北条司など、戦争をテーマに描いた作品を全6巻にまとめたシリーズ。

『せんそうしない』

たにかわしゅんたろう 文、えがしらみちこ 絵 / 講談社



「ちょうちょもきんぎょもせんそうしない。こどもはけんかはするけどせんそうしない。せんそうするのは、おとなだけー。」谷川俊太郎が優しい言葉でつづった絵本の表紙に書かれたまっすぐ正面を見る子どもたちは、何かを私たちに問いかけているようです。

『戦争をくぐりぬけたおさるのジョージ作者レイ夫妻の長い旅』

ルイーズ・ポーデン 文、アラン・ドラモンド 絵 / 岩波書店



絵本「おさるのジョージ」を生み出したレイ夫妻は、ドイツ出身のユダヤ人でした。戦争が始まりパリにナチス軍が迫ると、逃げるため道路を埋め尽くす500万人の人たちの中を夫妻は絵本の原稿を持ち自転車に乗り、アメリカを目指して脱出を図るのですが…。

●『手術をする外科医はなぜ白衣を着ないのか？』入倉隆 / 日経BP  
●『独裁者プーチンはなぜ暴挙に走ったか』池上彰 / 文藝春秋  
●『メンタルを強くする食習慣』飯塚浩 / アチーブメント出版  
●『子育て世代のための快適移住マニュアル』金丸知弘 / 誠実堂新光社  
●『おぼけますから、よろしくお願ひします。』信友直子 / 新潮社

●『いろいろかえる』きくちちき / 偕成社  
●『イカにんじゅつ道場』香桃もこ / 福音館書店  
●『ガチャガチャ・クレーンゲームをつくらう』いしかわまりこ / 汐文社  
●『みんなでドライブ』池上彰 / ポプラ社  
●『つくるたね』汐崎弘 / ごま書房新社  
●『おひさまのハンカチ』茂市久美子 / 講談社  
●『お札に登場した偉人たち21人』河合敦 / あすなろ書房

おはなし会を開催します — 3会場とも午前10時30分からはじめます —

▶ 加悦分室…8月13日(土) ▶ 野田川分室…8月27日(土) ▶ 本館…9月3日(土)  
※ 新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。また、状況によって変更または中止する場合があります。



● 問い合わせ先 / 与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087  
● 開館時間 / 午前10時～午後6時 ● 休館日 / 毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

がんばってます！消防団 編集 ● 第4分団

訓練の成果を披露

～ 2期ぶりの操法訓練～

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、操法大会ではなく訓練披露(団長巡視)というかたちで、操法訓練を2期ぶりに実施。5月初旬から訓練を開始し、6月19日(日)に団長をはじめ消防団本部に訓練の成果を披露しました。



ポンプ車操法を披露する団員(第4分団)

今年から操法要領が変更になるなど慣れない点もありましたが、多くの団員が訓練に参加し消火するための基本動作や指揮命令の重要性を確認することができました。訓練参加にご理解をいただきました家族の皆さんに心から感謝いたします。

災害について考える日、備える日

防災の日 — 09.01 —

Disaster Preparedness Day

9月1日は「防災の日」。日本は地形や地質などから地震や台風、津波、豪雨などの災害が発生しやすい国で、過去からさまざまな災害に見舞われてきました。そのような災害による被害を少なくするため、1960年(昭和35年)に「防災の日」が設けられました。

防災の日に関心を持って「4つの確認事項」

- 地域の避難所**  
 ハザードマップで、自分が住んでいる地域で起こりうる災害を把握し、自宅から近い避難所を確認しましょう。また、家族で避難所までの経路を事前に確認しておくことさらに安心です。
- 防災グッズ**  
 懐中電灯や非常食、救急用品などを詰めた非常用持ち出しリュックは、そのまま手にして避難することができます。そのためにも、リュックの中身を確認し、買い替えや補充を行いましょう。
- 備蓄品**  
 万が一に備えて、家族全員が3日間程度乗り切れる飲料水や非常食を準備しましょう。備蓄品は定期的に購入し、古くなったものは食べるなど、常に新しいものを備えましょう。
- 家族との連絡手段**  
 災害時は電話がつながりにくくなることが想定されます。災害伝言ダイヤル「171」やSNSなどで連絡を取り合うなど、緊急時の連絡手段を事前に決めておきましょう。

